

# 富士薬品の健康経営戦略マップ

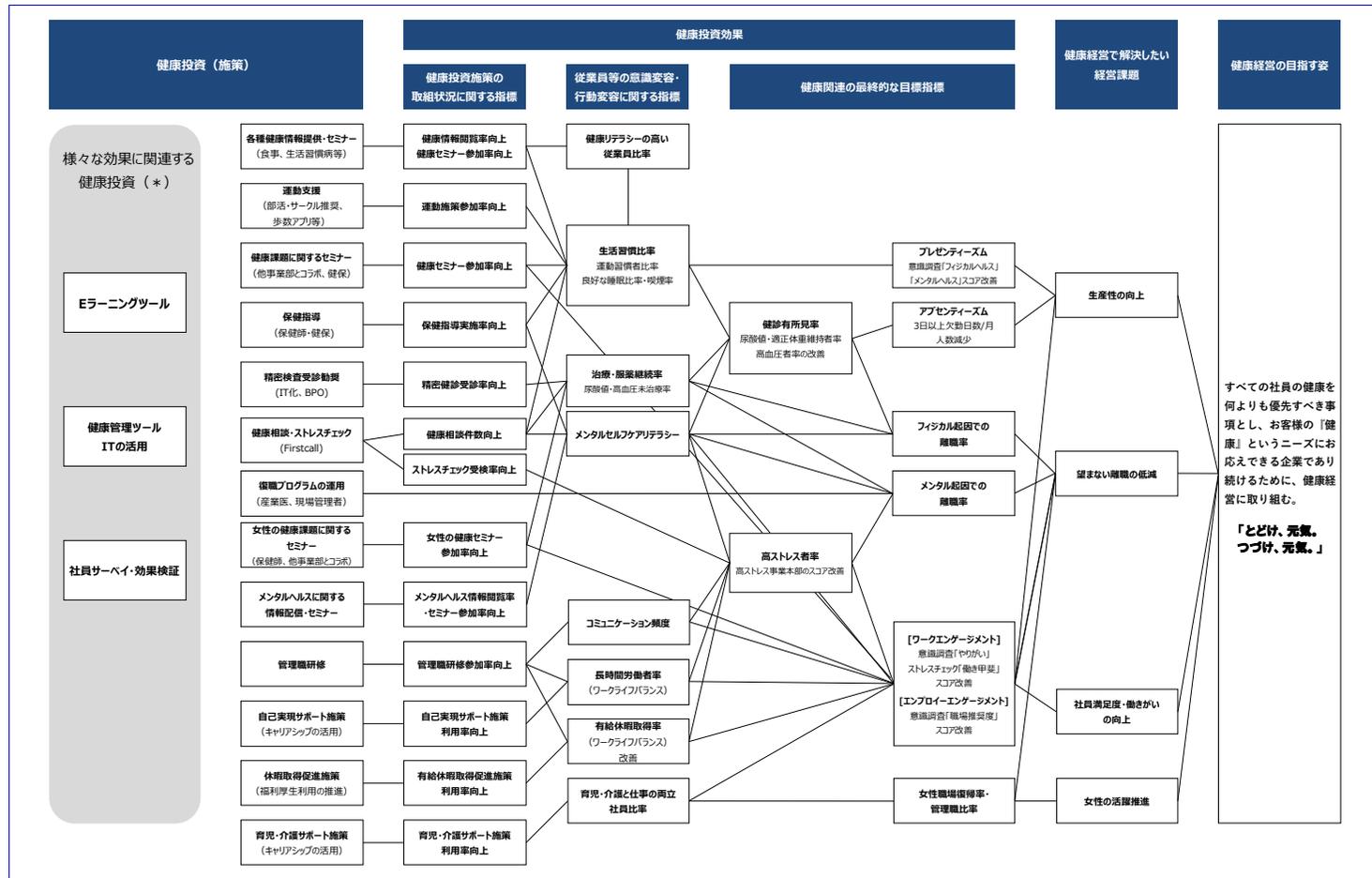
私たち富士薬品は、お客様に「元気」を届ける仕事をしています。

「元気」を届け続けるためにはまず、従業員自身が元気である必要があります。

私たちの指す「元気」=「出勤している」「病気でない」ではありません。「元気」=「いきいき、幸せに働き、自身のパフォーマンスを最大化できる状態」とし、参加型で実感を伴う(実のある)健康経営を目指して進めてまいります。

そのため、私たちの戦略マップは、心身に関連する数値のみならず、多様な働き方に関連する指標も組み込んでいることが特徴です。

実のある健康経営を実施し発信をしていくことにより、社会的な価値および生産性も高められていくものと考え、持続的により良い価値を提供できる企業であり続けるために、工夫・改善を続けながら各種施策に取り組んでまいります。



[各種指標と実績]

2019年度までの数値から、2020年度～2021年度は当社が名実ともにホワイト500を目指すために弱い部分を分析し、特に下記について重点を置いて進めてきました(下表赤字が重点施策)

- ・生活習慣病対策(運動施策、禁煙施策)
- ・リテラシー向上(教育)
- ・PDCAサイクルのための調査の活用(調査実施率の向上)

特に2020年度から実施を開始した調査については、意識調査とストレスチェック(50人未満の事業所含め全事業所)に年間600万ほどの投資をし、意識調査は年に2回、ストレスチェックは年1回実施をしております。特に意識調査においては多様な働き方、就業場所である従業員の状況を全部署共通の指標で見える化することにより、課題となる点の把握と優先順位付け、打ち手の検討と実施をし、次回調査結果でどのような結果が出るか、というPDCAサイクルを運用しています。95%以上の回答率があり極めて広く従業員をカバーしたデータとして活用しています。2021年度においてはエンゲージメントと他のスコアの相関をみるなど、分析についてもブラッシュアップをしてきました。

2回目を終えたあたりから、この調査結果をもとに人事に具体的施策の相談を頂いたり(例:こんな研修を取り入れたい)、他制度の検討会議の際に調査結果を意識した発言がでるなど、前向きな変化を感じています。コロナ禍において店舗運営・営業を継続する使命がある業態のため、特に感染が拡大したシーズンには欠員補充のために所定外時間が増えているなど、負担が数値に表れている部分もありますが、肉体的・精神的にも負担の多い環境の中でも前向きに施策や調査に参加し、リテラシーをあげている/意見をあげる場として活用している状況が見受けられます。

運動施策・禁煙施策においては、健保からのヘルスケアレポートにて数値の改善がみられています。KPIをクリアできていない部分についてはさらに2022年度新施策を追加しながら改善を目指します。

指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	KPI	
					*中付付は2020年度内で達成、遅くとも2022年度集計時には達成を目指す	
運動習慣者比率	17.5%	18.1%	30.3%	37.5%	24%	*健康調査結果より
良好な睡眠比率	54.3%	55%	57%	57.1%	58.6%	
喫煙率	35.1%	35%	33.9%	31.9%	25.2%	
一次健診受診率	97.2%	100% *コロナ検査実施	99.4%	100.0%	100%	
高血圧未治療率	4.5%	4%	3.6%	4.2%	2.7%	
有所見者率	69.12%	72.91%	72.8%	72.7%	72%台をキープ	
適正体重維持者率 (BMI正常範囲率)	62.3%	63%	62.9%	62.0%	62~63% をキープ	
高血圧者率	17.25%	18.56%	20.0%	19.4%	20%未満 をキープ	
特定保健指導該当者数	786人	752人	869人	819人	特定健診受診者数の 2割以内	
保健指導参加率向上	実施無し	実施無し	37.9%	65.0%	80%	
精密健診受診率	10.2%	8.4%	31%	72%	69.3%	
平均月間総実労働時間	177h	170h	167h	172h	165h	
平均月間所定外労働時間	18h	15h	17h	19.8h	17h未満 をキープ	
有休休暇取得率	36.2%	61.7%	69.2%	73.8%	66.2%	*全従業員
有休取得日数	6日	8日	9.8日	10.5日	12.7日	*全従業員
ストレスチェック受検率	50人未満実施無しのため比較対象外(参加率33.4%)	89%	96.8%	95.6%	93.5%	
高ストレス事業本部のスコア改善 (DgS、生産)	50人未満実施無しのため比較対象外	DgS:23% 生産:25%	DgS22% 生産18%	DgS23.5 生産20.9 配置25.7	全事業本部 20%未満	
健康リテラシーの高い従業員比率	数値無し	数値無し	63%	68%	95%	

指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	KPI	
					*中付付は2020年度内で達成、遅くとも2022年度集計時には達成を目指す	
女性管理職比率		9.1	10.1	11.2	1%/年以上向上	
女性職場復帰率	85%	91%	92%	94%	90%台をキープ	
プレゼンティーズム フィジカルヘルス	-	2.87	2.83	2.85	3.5以上	
プレゼンティーズム メンタルヘルス	-	2.75	2.75	2.74	3.5以上	
絶対的プレゼンティーズム (WHO-HPQ) ※1	-	-	62.5点	53.4点	58点	
アブセンティーズム 平均3日/月以上欠勤の人数	-	131	54	73	10%/年削減	
病気やケガで休んだ日数 従業員平均 ※2	-	-	-	3.43日	2.6日	
ワークエンゲージメント 職場推奨度 ※3	-	-	4.27	3.91	5.1	
ワークエンゲージメント ネット・ワークエンゲージメント 短縮版 ※4	-	-	-	2.51	3.42	
退職者(フィジカル)の退職率	1.50%	0.04%	0.4%	0.02%	0.1%未満	*全従業員
退職者(メンタル)の退職率	3.40%	0.31%	1.4%	0.08%	0.21%未満	*全従業員
継続雇用割合(採用10年前後)	-	-	男性33.1% 女性28.6%	男性12.7% 女性30.5%		
ウォーキングイベントアプリ登録数	-	-	642人	918人		

※1~4は下記の方法にて測定。  
 ※1 従業員意識調査の中に設問を配置。(0~100点)  
 ※2 従業員意識調査の中に設問を配置し、日数を自己申告  
 ※3 従業員意識調査内のeNPS(職場推奨度)の設問を活用  
 ※4 従業員意識調査の中UWES短縮版の設問を配置。(0=全くない~6=いつも感じる)